

COOP-JOSO News Letter

2019年9月4回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・おうちごはん」

常総生協の冷凍食品は「お母さんの手作りに代わるもの」!!

中国本場家庭の味を 日本の食卓に届けたい!!

～飛鳥（あすか）食品工場見学会報告～



8/6（火）東京都江戸川区にある飛鳥食品さんの工場へ、組合員さん6人+職員2人で訪問してきました。高宮社長から設立の経緯や少数精鋭〈約10人で殆ど女性〉での物づくりの話→工場見学は白衣に着替えて行い→3品の試食（美味しい!!）&果物のおもてなし→そして再度、社長とのお話の濃厚な約2時間。感動の内容は参加された方の感想を是非。

（※感想はP3に掲載）

2019年9月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
9月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に活動しています。試食会は9月26日に開催します。	9/16(月)さようなら原発全国集会(代々木公園) 9/18(水)茨城県生協連 理事会(常総生協本部) 9/20、21(金、土)生協ネットワーク21組織担当者会議 (常総生協本部)
9/13(金)三浦大根種まき(木村農園) 9/16(月)ゆるカフェ@つくば サマーキャンプ報告会(常総生協本部)	9/28(土)坂東市消費生活展 出展 NPO里山再生と食の安全を考える会 総会
9/18(水)第2回生協祭り実行委員会(常総生協本部) 9/21(土)歴史を学ぼう-未来のために(常総生協本部) 9/25(水)定例理事会 9/28(土)常総生協実験田稲刈り(常総市東町)	9/28、29(土、日)守谷市商工会まつり

■ 簡単便利というだけで冷凍食品を使っていますか？

加工度が高くなる冷凍食品には数多くの原料が混ざり合うので注意が必要です。常総生協の冷凍食品は国産原料を主原料として使用することを基本とし、添加物を極力使わず「お母さんの手作り」に近いものを企画しています。

また、お弁当や夕食の「あと一品」用に冷凍庫に常備しておくことはとても便利ですが、あとひと手間加えてアレンジすることで満足できたり、我が家の味に近くなるものもあります。

常総生協では良い商品だけでなく、生産者のモノづくりへのストーリーや想い、考え方を含めて共感し、支え合う、寄り添い合う関係をもって生産者と取り組んでいます。その中で、今回は飛鳥食品についてフォーカスしていきたいと思います。

飛鳥食品の特徴

原料へのこだわり	できるだけ無添加のもの、国産のものを使用しています。
安全	添加物・防腐剤・化学調味料は不使用
手作り	本場中国での作り方をそのまま日本へ
美味しく	中国本場家庭の味を日本の食卓に届けます

飛鳥食品の生産者ストーリー (商品部 稲垣)

■ 文化と人への想い

本場中国の味を再現するため、また中国残留孤児で帰還した人の雇用創出のために創業。従業員は約10人で、ほぼ女性（男性2人）。中国残留孤児の2世・3世と、中国からの研修生との事です。

そして約2年前、HACCP（衛生管理の国際基準）に対応できるよう、住宅や工場などが立ち並ぶ今の新社屋（工場）へ。昨年はISO（国際標準化機構）も認定されました。



■ 飛鳥菜館から引き継いで

飛鳥食品の存続に尽力されている高宮社長。「中国残留孤児の方が帰国してから日本語もわからず仕事もない…この会社は残さなくてはと思ったんです」「そしてまずは日本を知ることが必要と思って、日本語講座や四季折々の風習などを従業員に教育しました」「みんなとても真面目で丁寧なんです。私が言わなくても、清掃や改善など自主的にやってくれるんです」など、従業員に感謝し、大切に思っている様子が伺えました。

■ 歴史を知ることが大事

「今の現代人は、スマホばかり見て、目の前の大切なこと見失っているのでは」と。「満州から引き揚げた方から、親にお金で売られ、また売られた先でも辛い思いをしたという話、死体が山積みになった中から這い出してきた話も聞きました。」「辛い戦争の話を知れば、今の平和がいかに大事で、戦争は絶対にしてはいけないと思えるはず」と熱く語ってくれました。

辛い経験をし、知っているからこそ、人を想う温かい気持ちがある。国柄など、違うことを知って互いを尊敬しあう。飛鳥食品の見学会を通して、今の私たちに必要なことだと実感した見学会でした。

○一生懸命なものづくり

飛鳥食品の前身「飛鳥菜館」の設立目的は中国残留帰国孤児達の自立するための職場としてでした。もしかしたら、夫も中国で同じ境遇に置かれたかもしれないと思うと人ごととは思えず関心を持っていました。20年以上の歴史ある飛鳥菜館から平成19年4月(株)飛鳥食品に変更し新会社としてスタートされました。現在は製造部門の作業員は全て中国人とのことでした。挨拶をきちんとされ、私語はなく一生懸命作業されてました。会社は掃除がゆき届き清潔でした。製品は各取引先の仕様にあわせ製造されているそうです。試食のシューマイ・カレーまんはとても美味でした。これからも安全で品質にこだわり美味しい製品を作り続けて頂きたいです。

(我孫子市S・Mさん)

○清潔きれい！美味しさのヒミツ

飛鳥食品を訪れてとても清潔できれいな工場です。ひとつひとつ手作業で春巻を作っている姿はびっくりでした。手作りの味に近いこだわりのあるものだからこそ美味しいのだなぁと思いました。

いつも同じものしか購入していませんでしたがカレーまん、焼売、黒豚水餃子など今まで以上に購入してみようと思います。生協さんの見学はとても楽しく良心的で魅力があるのでまた見学会を企画してください。

(我孫子市T・Sさん)

○教育が好循環に…仕事や育児に活かしたい

育休中に色々な経験をしてみたいと思い参加させていただきました。残留孤児について聞いたことはありましたが、今回飛鳥食品さんへ訪問し理解していなかったことを知り恥ずかしく思いました。家族で満州へ渡り、乗車のため並んでいた列が別になってしまいはぐれてしまったり、売られたりなど様々な

事情で両親と別れ中国に残った人たち。日中国交回復まで帰れず、回復後に帰国できても言葉が壁となり自立が難しく苦労され、そ



れが2世3世でも続いていること。私は看護師ですが、中国語以外話せない日本人患者さんが残留孤児だったかもしれないことを思い出しました。今後、この経験を活かしてケアに繋がっていきたいと思います。



高宮社長の残留孤児たちへの日本の慣習を伝える等の教育が、職場環境を良くし、社員同士の仲を良くすることに繋がり、モチベーションアップや効率向上という好循環を生み出していることに感動しました。自国の慣習を学ぶことで、先人、自然への感謝の気持ちが生まれ生かされている命を喜べるようになるのかなと思います。これは子育てにも通じると思うので、子どもへ日本の慣習を伝えていける親になれるように意識したいです。

10か月の子供を連れての参加になりましたが色々調整していただいたり、泣いている子供と一緒になだめてくださったり様々なお気遣いありがとうございました。親子共々楽しい一時を過ごせました。試食もとてもおいしかったです。今後購入していきたいです。

(守谷市T・Kさん)

○社長の従業員への信頼感が印象的

高宮社長のお話しは、中国残留孤児だった方々の勤務態度への称賛が主で印象的でした。歴史の波に、というより戦前・戦後の政権の非情さに翻弄され、未だに日本社会に受け入れられない状況の中で黙々と働き、掃除を徹底し平等で仲良く、退職しない、その結果、商品クレームもないとのことでしたが、その裏には様々なトラブルを共に乗り越えてきた経営陣の大きな努力があったようです。点心を頂いて食べる笑顔、作る笑顔の深い意味もかみしめました。

(取手市S・Hさん)

今週の16ページには飛鳥食品特集！を企画しています。是非ご利用ください。
※なお、運送費や資材高騰により、10月より値上げを予定しています。

小さな上映会便り 2019-5（脱原発とくらし見直し委員会）

出来るだけ文章を変えない方針ですが、少しを変えたところもあります。時々DVDが再生できないことがあります。相性の問題ですので、お友達の協力を得て、出来るだけ製造の新しい再生機で再生してみてください。

NO	題名	観た組合員さんからの感想文
1	祝の島 1000年先にいのちはつづく	祝島の人々が原発建設反対運動を37年間も力強く、しかも希望を失わないで、続けているのは何故なのか、その秘密を教えてください。沖縄の闘いを想起させるのも「1000年先にいのちはつづく」をイメージできる共通の生活のありよう故と今更ながら発見した思いです。
6	ヒバクシャHIBAKUSHA 世界の終わりに	長崎に投下された原爆のプルトニウムを製造した核施設。周辺の放射線被害は信じられない程深刻なものでした。しかし核兵器を国民を守る宝剣のように考える住民達は、被害を被りながらも「説明の付かない不幸」としか語りませんでした。
13	知らされなかった核汚染	マーシャル諸島で戦後12年間に渡り繰り返された原水爆実験。爆発力はTNT火薬換算で計1000億kg。威力の凄まじさから水際に"ピキニ"の名前がつけられたのは有名な話です。加えて放射線被害。第五福竜丸も被爆しました。「私たちが人間でないと思っているのか」
24	2010 わしも死の海に追った～証言・被災漁船50年目の真実	「ピキニ事件」は有名ですが、他に1000隻もの船が被爆し、後に多くの方が亡くなったことを私は知りませんでした。「公にされると、明日の生活が・・・補償を口に出しでもしたら、あれは→アカだと・・・」と口をつぐんだ被災者たち。それをひとつひとつほどいていったのは、なんと高校生たちでした。私は若者の可能性を忘れていました。希望がわきました。
42	子供と貧困	教育の平等。安心して子供が学べる社会になってほしいです。
46	恐怖のカウントダウンー東海第二原発を止めたい	知らなかったことが色々あり観てよかったですと思いました。廃炉を望みますが、廃炉後も貯蔵してあるものの管理など、地震や津波のたびに心配な事がないのか？廃炉の後についても、不安を持ちました。 東海第二原発の状況が良く分りました。他人事ではないと改めて考えさせられました。 本当に真剣に考えなければいけないと思いました。福島の人たちの苦しみを忘れては、いけないし、まして終わることなどないのだから。こんな危険なものは動かしてはいけない。 津波対策さえすればというものではない。事故は何が原因で起こるのかわからないのだから。 起きてからでは遅いのだから！！ 東海村出身と言うこともあり、改めて考えさせられる内容でした。脱原発支持に変わりはないです。日原電、東電、国側に本音を聞いて見たいと思います。経済発展のため、営利のためだけで本当にこんなことがまかり通るのでしょうか？
51	フードインク	ネットなどで畜産の工業化のことは知っていましたが、ここまでいろいろな問題を抱えていることを映像で観ることが出来て、学んだことが多かったです。子供にも分り易い。インパクトの強い内容で見終えた後、親子で食のことで、今取り巻く環境を語り合えてよかったです。
53	未来の食卓	世の中には安心して食べられるものが本当に少ないと改めて実感します。今ここから出来る事は何なのか本気で考えないといけないです。
59	甘くない砂糖の話	当たり前のように口にしていて食品の中に、たくさんの砂糖が含まれていることに、先ず驚きました。ニコチンやお酒、ドラッグなどと同様に依存症が高いこと、またその事実を隠そうとする業界の圧力がある事を知り恐ろしいと感じました。正しい食品を選択していく力を身に付けるためにも、10代の子どもたちに知ってもらいたい内容だと思いました。 砂糖と果糖について深く考えさせられました。 数年来人間ドッグで血中の中性脂肪が上昇していました。電車で乗り換え三回、遠距離通勤を一年、値が見事に下がりました。糖質は結構取っていますが、最近甘いものをたくさん食べたいと思わなくなりました。企業の都合で情報操作されることがあるという事、知ることの大切さを感じる事が出来ました。
60	いのちの食べ方	どういう設定で提示するか方向性を考え付きませんでした。見る側にある程度の心構えがないと92分に耐えられないと思いました。しかし映像には興味深さと、整然とした美を感じました。
79	コスタリカの奇跡	こんな国があったんだ！！と感動しました。日本国民みんなが観る機会を持つといいなーと思いました。今の日本が間違っていることに気付くきっかけになると思います。

- ★ DVD貸出希望者は注文用紙の組合員意見欄、ホームページの組合員専用お問い合わせフォーム <https://www.coop-joso.jp/senyouToiawase.html>で受け付けております。
- ★ 電話:0297-48-4911/Fax:0297-45-6675 でもOKです。ぜひ、ご利用ください。